

みずほCustomer Desk Report 2024/04/01号(As of 2024/03/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	151.40
TKY 9:00AM	151.45	1.0791	163.17	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.50	1.0803	163.40	1.2623	0.6516
SYD-NY Low	151.17	1.0769	162.97	1.2644	0.6538
NY 5:00 PM	151.38	1.0790	163.40	1.2610	0.6506
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	-	-	日本2年債	0.1800%	▲0.0100%
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.7200%	0.0200%
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	40,369.44	201.37	米国5年債	-	-
TOPIX	2,768.62	17.81	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	-	-
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	-	-	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	7.71%	0.10%
上海総合	3,041.17	30.50	USDJPY 3M Vol	8.13%	0.02%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	8.39%	▲0.02%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	▲1.24%	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	7.73%	0.02%
ドルインデックス	104.55	0.00	EURJPY 6M Vol	8.24%	0.02%

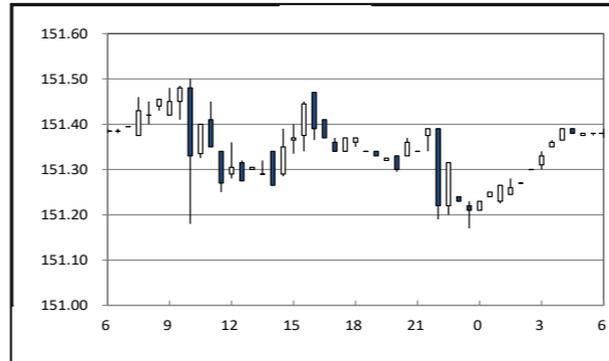
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月29日	08:30	日 東京(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	3月 2.6%/2.4%/2.9%	2.5%/2.4%/2.9%
	08:30	日 失業率	2月 2.6%	2.4%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)速報	2月 0.5%	0.2%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	2月 0.3%/2.8%	0.3%/2.8%
3月31日	10:30	中 製造業PMI	3月 50.8	50.1
	10:30	中 非製造業PMI	3月 53.0	51.5

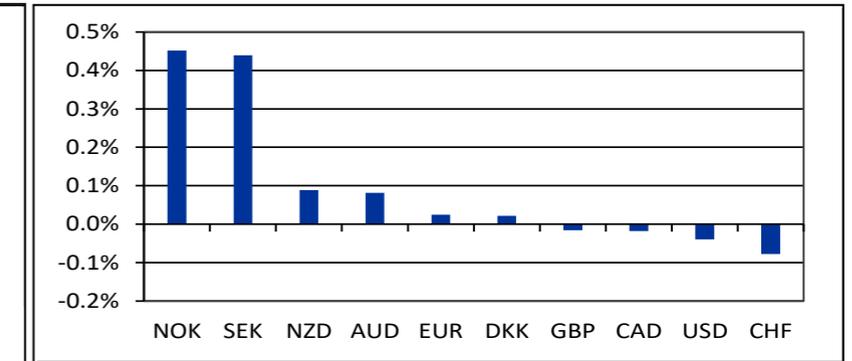
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月1日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	3月 51.0	50.9
	22:45	米 製造業PMI・確報	3月 52.5	52.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	2月 0.7%	-0.2%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 48.4	47.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.00	1.0740-1.0840	162.70-163.70

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円相場は、主要海外市場が休場であったことから、参加者少なく動意乏しく推移。本日もイースター休暇で多くの市場が休場となるため参加者は限定的。よって流動性が低く値が飛びやすい展開も予想される。本日は日銀短観が発表される。結果がサプライズの場合には想定以上に相場が動きうるため注意が必要だ。ただ基本的には、新NISAによる外貨買いフローの憶測がドル円相場を押し上げる展開と、介入警戒感との綱引きの展開となろう。

東京	東京時間のドル円は151.45レベルでオープン。期末のフォローも入ってか、仲値にかけて売りが強まり、一時151.18まで下落するも、一服するとほどなくして151円台半ばまで値を戻す。その後は多くの国が休場で、流動性が薄い中方向感を欠き、オープンと同水準の151.45レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	東京市場では年度末を控え、仲値設定に掛けてドル売りが優勢となったものの、その後はイースター休暇で市場参加者が減少する中、海外市場のドル円は方向感の無い推移が続き、151.38レベルでNYオープン。朝方は米2月個人支出が予想を上回る一方、個人所得が減少し、PCEコア価格指数も予想と一致したものの、前月から低下していることが確認され、ドル売りに151.17まで下落する。その後パウエル議長が利下げを急ぐ必要がないことを発言したことからややドルが買われる局面もあったものの、午後になると更に市場参加者が減少し流動性が低下する中、閑散な取引が続き、151.38レベルでクローズした。一方、イースター休暇で積極的な取引が控えられ、狭いレンジでの推移が続いたユーロは1.0786レベルでNYオープン。朝方は、米個人所得の低下や、PCEコアが前月から低下していることからドル売りが優勢となり1.0803まで戻す。その後は流動性が低下する中、閑散な推移が続き、1.0790レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。